

## 「未来高岡」ステップアップトーク（横田地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 11 月 27 日（日） 午前 10 時から 11 時

2、場 所 横田公民館

3、出席者 市民 31 名（うち女性 4 名）

高岡市 市長、経営企画部次長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

### (1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

#### (2) 参加者との意見交換

参加者

- ・本日配付された資料の中で、「市民創造都市高岡」の実現に向けた 17 のめざすまちの姿として掲げた分野別目標図と、「市民と市政」に掲載されているイメージ図が違うが、市の内部で連携がされていないのではないかと。
- ・「市民と市政」でコンパクト&ネットワークに関する記事があったが、安全性についても少し力を入れてほしい。

市長

- ・総合計画の基本計画の中で、基本構想で掲げた 17 のめざすまちの姿を実現する 61 の施策と 91 の指標を掲げおり、5 年ほどの期間を基準に考えている。また、基本計画では、“魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる” “多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる” “安心して子どもを産み育てられるまちをつくる” “快適に暮らせ、創造的に活動できるまちをつくる” を 4 つの柱として考えている。安心や安全というのは全ての行政分野のベースとなることであり、常に念頭に置いておかなくてはならない。安全・安心の観点から、浸水被害への対応や、地震への備えについても力を入れていきたい。

参加者

- ・コミュニティバス「こみち」のルートに、あいの風とやま鉄道の新駅を加えてほしい。また、その新駅の近くに公共施設を設置したり、国道 8 号線を含めた新駅周辺の道路網などインフラの整備をしてほしい。

市長

- ・あいの風とやま鉄道の新駅については来年度中にオープンしたいと考えており、駅前広場などのインフラ整備についても行政がしっかり取り組んでいきたい。コミュニティバス「こみち」の運行ルートについては、地域の声も聞きながら、どのようなルートがよ

いのか考えていきたい。市内でも、地域バスや予約制のデマンド交通<sup>1</sup>を行っている地域があり、それらも参考としながら駅周辺の交通についても地域の皆様と相談していきたい。

参加者

- ・今回の開催にあたり、前回のわがまちトークの中で、どの地区でどのような発言があったかについて市から説明をしてはどうかと思うので、今後検討してほしい。

市長

- ・様々なご意見を頂いているが、昨年度、12 中学校区で開催した「未来高岡」夢トークの結果報告を本日の資料としてお配りしているので、ご参照いただきたい。

参加者

- ・平成の御車山が再来年 3 月までに完成すると聞いているが、来年の御車山祭りの際に一般公開する方法として、現在曳いている 7 基の山車と同じように町内を曳きまわせば良いのではないかな。

市長

- ・平成の御車山は、来年度中に一つの山車として完成する見通しである。市民の浄財で作られているので、公開の方法は誰でも参加できる形にしたい。400 年続く御車山祭りのスタイルと、新しく加わった平成の御車山をどう調和させていくかは今後の課題であり、相談していきたい。

参加者

- ・高岡市が日本遺産に認定されたが、市民が市の文化財にどれだけ誇りを持ち関心を持っているのかについて疑問がある。もっと市民が心を一つにできるように考えてほしい。

市長

- ・総合計画の策定の際に、総合計画審議会から「再発見」という項目の提案があった。文化財というと関わる人が限られるような印象があるが、御車山祭り際には、学校の子ども達が見に行けるようにして高岡のまちの文化を体験できるよう教育委員会とも相談している。

---

<sup>1</sup> 予約型の運行形態の輸送サービス

参加者

- ・家庭の貧困、虐待、発達障害など子どもたちを取り巻く環境は多様化しており、それを受け入れる学校も大変な状況である。学校の先生をサポートする枠組みとして「ケース会議<sup>2</sup>」を取り入れてほしい。

市長

- ・一人一人の子どもに着目して、家庭、地域や福祉分野、教育分野において、それぞれが見守っていく体制が大事であり教育委員会とも相談していきたい。

---

<sup>2</sup> 困っている子供に対する支援について、担任の先生一人で抱えず他の先生や保護者、時には外部の専門家などを交えて支援をみんなで考えて支えていくために行われるもの。